

保護者の皆さまへ

高浦中学校長 池内 裕之

学校評価アンケートの結果報告について

ご多用の中、令和元年度の本校の学校運営の取り組みについてアンケートをお願いしましたところ、全校生徒176名のうち、86.9%にあたる153名の保護者の皆さまからご回答をいただきました。ご協力いただき、大変ありがとうございました。

アンケートの結果につきましては、別添のようにグラフ化いたしました。全体を通して見ると、悩みの相談や学力向上の定着、読書のあり方が課題として捉えることが出来ます。以下、4点のことについて来年度の努力事項を説明いたします。

1 学校教育について

学校教育については、「生徒は学校生活を楽しんでいる」に対して、「あてはまる」「ややあてはまる」の合計(以下同じ)が79%の評価をいただいています。しかしながら、「教師はわかりやすい授業に努めている」「生徒が目標を持って生活を送ることや生徒の悩みなどへの教師の対応に応じている」については、50～59%の評価であり教師側の課題が明らかになりました。全項目の中でもこれらに事について特に改善の必要があると考えます。自由記述では、教師の指導力についてのご意見がありました。「わかる授業」「基礎基本の定着」の授業展開を強く望まれていることも明らかになりました。今後、学習指導の充実や教育相談のあり方を図られるように、更に努力したいと考えております。

2 生徒の学校や家庭での生活について

生徒の学校や家庭での生活については、生徒が学校生活を楽しく過ごしている様子が家庭にもよく伝わっていることが、88%の評価に現れています。お子さんの健康な生活づくりや基本的な生活の決まりについての評価が保護者の方は、62%～68%と基本的な生活習慣の定着が十分でないように感じます。これについては健康面や学習面に大きくかわってくることなのでご家庭との密な連携で改善できればと考えます。

お子さんの挨拶については69%の保護者ができていると考えられています。ただ、家庭学習の習慣化は61%、生徒の読書量は49%の評価であり、定着できていないとするご意見が多く、これらの項目の向上がこれからも大きな課題であると考えております。

3 安全教育について

「学校は地震や津波などの危機的な時の指導について」は、58%と読書につき低い評価となっています。自然災害については、危惧されているところです。命を守るための正しい判断と行動がとれる安全教育への取り組みを継続していきます。

4 その他お気づきの点について

前従のわかりやすい授業、教師の生徒への接し方等について、きびしいご意見も頂いております。こうした保護者の皆さまの声を真摯に受け止めるとともに、高浦中学校はがんばっているとの評価を得られるようご協力もいただきながら、来年度の学校改善に出来るだけ活かして参りたいと考えております。今後ともよろしく願いいたします。